

第 144 回東邦医学会例会プログラム

平成 26 年 6 月 11 日(水) 午後 5 時～7 時 28 分

平成 26 年 6 月 12 日(木) 午後 5 時～8 時 05 分

平成 26 年 6 月 13 日(金) 午後 5 時～8 時 08 分

11 日 東邦大学医学部第 3 講義室

12 日・13 日 東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1F)

当番教室: 11 日 内科学講座膠原病学分野(大森) 川合眞一教授

12 日 社会医学講座衛生学分野 西脇祐司教授

13 日 外科学講座心臓血管外科学分野(大森) 渡邊善則教授

6 月 11 日(水)

開会の辞 _____ 膠原病学分野(大森) 川合眞一教授
当番教室:内科学講座膠原病学分野(大森)

A. 大学院学生研究発表 1 (発表:各 10 分, 討論含む)

座長: 杉 薫教授(大橋循環器内科) 1～3 席 (5:00-5:30)

1. ハロセン麻酔モルモットモデルを用いた QT 延長薬の PK/PD 評価(10 分)
片木 淳 (機能系), 指導教授: 杉山 篤教授 (薬理学)
2. Azithromycin は催不整脈性を認めないが左室収縮力を抑制する: ハロセン麻酔犬モデル
および慢性房室ブロック犬モデルでの評価(10 分)
小原 浩 (内科系), 指導教授: 池田隆徳教授 (大森循環器内科)
3. Fluvoxamine の電気薬理学的作用: ハロセン麻酔犬モデルでの評価(10 分)
橋本(山崎) 有希子 (内科系), 指導教授: 池田隆徳教授 (大森循環器内科)

B. 新任教授特別講演 1

座長: 川合眞一教授(大森膠原病) 4 席 (5:30-5:50)

4. 前立腺がん治療におけるパラダイムシフト(20 分)
泌尿器科学講座(大森) 教授 中島耕一
- 休憩 10 分 (5:50-6:00) ——

C. 平成 25 年度プロジェクト研究報告 1 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 伊豫田 明教授(大森呼吸器外科) 5～7 席 (6:00-6:20)

5. Azithromycin は催不整脈性を認めないが左室収縮力を抑制する: ハロセン麻酔犬モデル
および慢性房室ブロック犬モデルでの評価 (※大学院生発表とプロジェクト研究発表を兼ねる)
○小原 浩(大森循内), 渡辺雄大(薬理)
6. iPS 細胞由来心筋細胞シートを用いた薬物性再分極遅延評価法の分析: 多施設間バリデーション(8 分)
○中村裕二, 本川佳幸(薬理)
7. 線維化型間質性肺炎急性増悪例における HMGB1 値と予後の検討(8 分)
○坂本 晋(大森呼内), 佐藤大輔(救命救急), 長谷川千花子(大森病院病理)

D. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 1 (発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 伊豫田 明教授(大森呼吸器外科) 8 席 (6:20-6:30)

8. 三尖弁形成術における機能温存のための臨床解剖学的検討(8 分)
○川島友和, 村上邦夫(生体構造)

E. 平成 25 年度プロジェクト研究報告 2 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 石井良和教授(微生物・感染症学) 9～11 席 (6:30-7:00)

9. *Clostridium difficile* 感染症の病態と毒素遺伝子保有株の病原意義に関する検討(8 分)
○吉澤定子(総診), 村上日奈子(臨床検査部)

10. エンテロバクター属菌のメタローβ-ラクタマーゼ遺伝子リザーバとしての役割に関する研究(8分)
○青木弘太郎, 青池 望(微生物・感染)
11. レジオネラ感染におけるインターロイキン 17F の役割(8分)
○梶原千晶, Anwarul Haque(微生物・感染)
- 座長: 舘田一博教授(微生物・感染症学) 12席 (7:00-7:10)**
12. 慢性肺アスペルギルス症の病理組織学的研究(8分)
○栃木直文(大森病院病理), 後町杏子(大森呼内)

F. 研修医発表(大森病院初期研修医)1 (発表:各7分, 討論:各2分)

- 座長: 舘田一博教授(微生物・感染症学) 13・14席 (7:10-7:28)**
13. 部位の同定が困難であった骨盤内膿瘍の1例(7分)
○河西貞智(大森研修医), 高野博子(大森産婦)
14. 肝膿瘍を形成した Mucoido 型 *Klebsiella pneumoniae* による敗血症の1例(7分)
○曾根崎雅也(大森研修医), 菅澤康幸(総診)

6月12日(木)

当番教室: 社会医学講座衛生学分野

G. 大学院学生研究発表2 (発表:各10分, 討論含む)

- 座長: 岩崎泰雄教授(大森神経内科) 1~3席 (5:00-5:30)**
1. 実験的自己免疫性神経炎ラットの神経内 hydroxyl radical 産生と edaravone の効果(10分)
井上雅史(内科系), 指導教授:藤岡俊樹教授(大橋神経内科)
2. Ibudilast の Th17 細胞への分化抑制作用について(10分)
柳橋 優(内科系), 指導教授:岩崎泰雄教授(大森神経内科)
3. 乾癬患者における皮下脂肪からのアディポカイン遺伝子発現についての検討(10分)
三津山信治(内科系), 指導教授:石河 晃教授(大森皮膚科)
- 座長: 黒木宣夫教授(佐倉精神神経) 4・5席 (5:30-5:50)**
4. 精神病発症危険状態における脳梁の線維束統合性とその精神症状との関連:
拡散テンソル画像を用いて(10分)
齋藤淳一(内科系), 指導教授:水野雅文教授(精神神経医学)
5. 片頭痛に対するバイオフィードバック療法の有効性の検討(10分)
小田原 幸(内科系), 指導教授:坪井康次教授(心身医学)
- 座長: 中野裕康教授(生化学) 6席 (5:50-6:00)**
6. EP4 作動薬の PV ループに対する作用:既存薬との比較(10分)
本田 淳(機能系), 指導教授:杉山 篤教授(薬理学)
- 休憩 10分 (6:00-6:10) -----

H. 平成24年度プロジェクト研究報告2 (発表:8分, 討論:2分)

- 座長: 中野裕康教授(生化学) 7席 (6:10-6:20)**
7. 核内タンパク質 SATB1(special AT-rich sequence binding protein 1)の免疫寛容の役割解析(8分)
○向津隆規(大森消内), 出口 裕(生化)

I. 平成25年度プロジェクト研究報告3 (発表:各8分, 討論:各2分)

- 座長: 中野裕康教授(生化学) 8・9席 (6:20-6:40)**
8. SPB 構成因子 Cdc31 の DNA 複製開始における制御機構の解析(8分)
○中林 修, 三宅早苗(生化)
9. 3 テスラ MRI を用いた薄層 3 次元的 MRI による膝関節外側半月板支持機構の評価(8分)
工藤秀康, ○小田島正幸, 笠井ルミ子(佐倉放射), 徳山 宣(佐倉病院病理),
谷口慎治(佐倉整外), 戸澤光行(佐倉中央放射線部)

<企画担当>

社会医学講座衛生学分野, 内科学講座膠原病学分野(大森), 外科学講座心臓血管外科学分野(大森)

座長: 西脇祐司教授(衛生学)

「医療統計学, 最初の一步」

村上義孝教授(医療統計学)

J. 研修医発表(大森病院初期研修医)2

(発表:各7分, 討論:各2分)

座長: 央戸清一郎教授(腎臓学) 10~14席 (7:20-8:05)

10. 卵巣癌合併妊娠の1例(7分) ○並木美紀(大森研修医), 釘宮剛城(大森産婦)
11. 原因不明の発熱, CRP 上昇で Crowned dens syndrome (CDS)と診断された1例(7分)
○植田有紀子(大森研修医), 前田 正(総診)
12. 淋菌性咽頭炎の1例(7分) ○角 朋世(大森研修医), 宮崎泰斗(総診)
13. 腎盂腎炎として治療経過中に両側腎動脈狭窄と腎梗塞が発見された1例(7分)
○葛原絢花(大森研修医), 渡邊利泰(総診)
14. 感冒様症状と肝機能障害で来院した薬剤性過敏症候群の1例(7分)
○濱井麻美(大森研修医), 宮崎泰斗(総診)

6月13日(金)

当番教室: 外科学講座心臓血管外科学分野(大森)

K. 大学院学生研究発表 3

(発表:各10分, 討論含む)

座長: 宮崎修一教授(先端医科学研究センター) 1・2席 (5:00-5:20)

1. 2009~2010年に多施設より分離されたESBL産生 *Proteus mirabilis* の地域分布と抗菌薬感受性に関する検討(10分)
金山明子(内科系), 指導教授: 澁谷和俊教授(大森病院病理)
2. 待機的結腸直腸癌術後の創部SSI予防に対する真皮縫合とステープラーの創閉鎖方法の無作為比較試験(10分)
小林 信(外科系), 指導教授: 草地信也教授, 斉田芳久教授(大橋一般・消化器外科)

座長: 瓜田純久教授(総合診療・救急医学) 3~5席 (5:20-5:50)

3. 肺癌体幹部定位照射における3D-planの4D-CTを用いた線量分布評価(10分)
清水友理(外科系), 指導教授: 寺原敦朗教授(大森放射線科)
4. 肝細胞癌合併C型肝硬変患者の診療における診断および腫瘍マーカーとしての血清VEGF測定の意義(10分)
向津隆規(内科系), 指導教授: 住野泰清教授(大森消化器内科)
5. 高分化型脂肪肉腫と脂肪腫のゲノムコピー数解析(10分)
中山隆之(外科系), 指導教授: 武者芳朗教授(大橋整形外科)

L. 平成25年度プロジェクト研究報告 4

(発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 蓮沼智子講師(大森膠原病) 6~8席 (5:50-6:20)

6. 落葉状天疱瘡の水疱形成機序の解析(8分)
○吉田憲司, 橋本由起(大森皮膚)
7. 川崎病血管炎モデルにおける抗TNF- α 製剤の血管炎抑制機序に関する病理組織学的検討(8分)
○横内 幸, 大原関利章(大橋病院病理), 村石佳重(大橋病院病理部)
8. 褐色細胞腫におけるケモカイン受容体CXCR4の機能解析(8分)
○内海孝信, 神谷直人, 矢野 仁, 遠藤 匠(佐倉泌尿), 川名秀俊(佐倉糖代内)

—— 休憩 10分 (6:20-6:30) ——

座長：近藤元就教授(免疫学) 9～11 席 (6:30-7:00)

9. iPS 細胞由来血管内皮細胞の機能に関する研究(8 分)

○楠 夏子(大森膠原病), 高松 諒(大森整外)

10. 関節リウマチ患者に対する低用量メトトレキサート間欠療法における細胞内薬物動態と関連代謝酵素の遺伝子多型の検討(8 分)

○山本竜大, 藤尾夏樹(大森膠原病)

11. 関節リウマチにおける可溶性 RANKL の役割に関する研究(8 分)

○鹿野孝太郎, 金子開知(大森膠原病)

座長：小澤 司准教授(大森心臓血管外科) 12 席 (7:00-7:10)

12. 腹側被蓋野ドーパミン系を制御する視索前野ニューロンの機能解剖学的解析(8 分)

○恒岡洋右, 高瀬堅吉(微細形態)

M. 平成 24 年度プロジェクト研究報告 3

(発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長：小澤 司准教授(大森心臓血管外科) 13・14 席 (7:10-7:30)

13. 下丘から内側膝状体へ投射する parvalbumin 陽性神経細胞の免疫組織化学的研究(8 分)

○高柳雅朗, Reeshan uL Quraish (生体構造)

14. マウスの子宮 NK 細胞は妊娠 6 日目に著明に減少する(8 分)

○高島明子(佐倉産婦)、石川文雄(免疫)

N. 研修医発表(大森病院初期研修医)3

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

座長：小澤 司准教授(大森心臓血管外科) 15・16 席 (7:30-7:48)

15. スポーツ外傷後に意識障害が遷延した脳震盪の1例(7 分)

○岩崎義弘(大森研修医), 近藤康介(大森脳外)

16. 大動脈奇形(右側大動脈弓)を伴う大動脈解離の 1 例(7 分)

○内野 敬(大森研修医), 鈴木健也(大森循内)

O. 新任教授特別講演 2

座長：渡邊善則教授(大森心臓血管外科) 17 席 (7:48-8:08)

17. 関節軟骨再生医療の現状と将来展望(20 分)

整形外科学講座(佐倉) 教授 中川晃一

閉会の辞 _____ 外科学講座心臓血管外科学分野(大森) 渡邊善則教授

- 1) 「休憩」は当日の進行状況によっては割愛することがあります。
- 2) 一般演題, 大学院生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 医学研究科推進研究報告, 分科会報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内*)の出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail にデータ添付でお送りください (E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
- 3)特別講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 4,000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 4)当番教室企画講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 3,200 字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
- 5)医学会賞受賞記念講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 2,000 字程度の講演要旨を提出してください。

※2)～4) 5)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。3), 4), 5)については, 詳細を受付におたずねください。

医学部第 3 講義室 内線:2242 5 号館地下臨床講堂 内線:3862 PHS:79090 (開催日のみ)